

平成 29 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座・教授
氏名 Name	高階早苗
専門分野 Academic Field	近・現代フランス文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	19～20 世紀フランス文学作品における「窓」について
<p>研究計画に従い以下の 4 つの面から 19～20 世紀における文学作品における「窓」について情報を収集し、論文の執筆に取り組んだ。</p> <p>(1) 東京大学他の図書館にて当時の建築や社会学の資料を収集した。19 世紀の建築材料として鉄と並びガラスは代表的な新素材であり、とりわけそれまで小さく厚くしか作ることでできなかった後者をより大きく、薄く、頑丈にし、枠に合わせて成型する技術が改良されることによって、窓と鏡は飛躍的に身近な素材になった。それらのことをデータとしても検証し、図版から様々な様式を見ることができたことで、文学作品の分析にも応用することが可能となった。</p> <p>(2) 「境界」としての窓、及び鏡によって引き起こされる「オリジナルとコピー」というテーマに関しては、予定していたうちモーパッサンの短編小説「合図」という作品をもとに分析を進め、その部分に関しては執筆済みである。マラルメに関しても構想は終わっているが、コレット、ブルトンに関しては収集できていない論文もあるため来年度も継続する予定である。</p> <p>(3) 窓、及び「鏡」や「水鏡」に関する絵画に関しては、ドガやミレーなど収集はしたものの、文学作品との関連づけに更なる検討の余地がある。</p> <p>(4) 20 世紀前半の市街戦に関しては、アンドレ・マルローの「希望」やヘミングウェイ、ウェルズなどの品内の表現に目を通したが、予測していたような成果は得ることができなかった。</p>	